

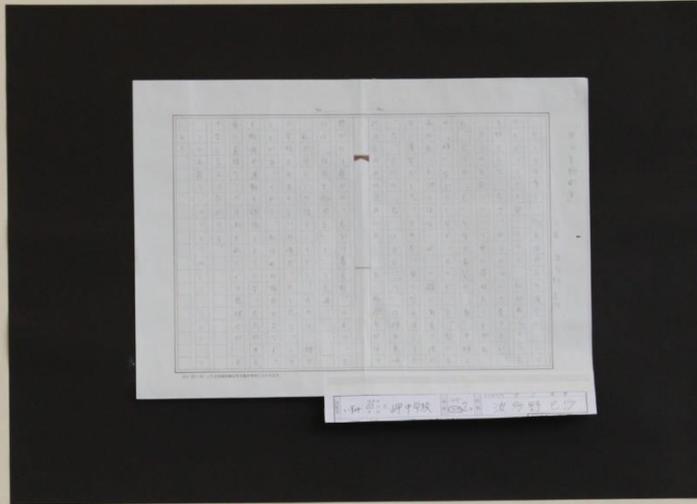


第9回 白川静漢字教育賞 小・中学生の部  
優秀賞（漢字作文部門）

「自分を極める」

千葉県 いすみ市立岬中学校 二年

波多野 己沙さん



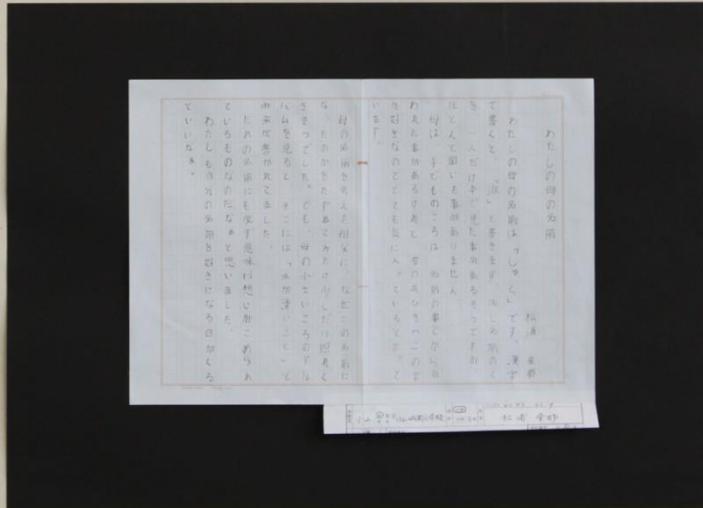
【講評】  
自分の名前、たかが名前、されど名前です。みなさんは自分の名前の由来を調べたことありますか？  
自分の名前には親からの強い願いが詰まっています。私はこの作文を書いたことで、名前に書けなかったこと、  
うにもとがらばうと改めて思いました。

【講評】  
波多野 己沙さんの作品は、自分の名前の由来や漢字の成り立ちを詳しく知ることによって、自分の名前  
が両親からの初めての大きくプレゼントだと知った喜び、名前のように「自分を極める」という強  
い思いも、そこが素直に伝わってくる作品でした。

「わたしの母の名前」

栃木県 小山市立小山城南小学校 五年

松浦 來那さん



【講評】  
誰の名前にも必ず意味や想いがこめられているのと同じように、自分の  
名前(字)が「好きな名前」だと思えて、嬉しく思っています。みなさんも自分の名前の由来を調べ、  
みませんか？新しい発見があるかもしれません。

【講評】  
松浦 來那さんの作品は、家族それぞれの人柄や関係性が伝わってくる温かい作品でした。  
気になって、母の名前の由来が昔のアルパカからわかり、作者はそこ祖父の身ぶれる思いを感じ  
ます。たった四字の作文の中にドラマを感じさせる作品でした。

作文の内容は、生文課 HP

「白川静漢字教育賞「小・中学生の部」の受賞作品を紹介します」

をご覧ください。



第9回 白川静漢字教育賞 小・中学生の部  
優秀賞（自由部門）



【作品説明】  
 漢字の由来や意味、そしてその文化背景について、子どもたちが独自の視点から表現しています。例えば、「春」の作品では、自然の芽吹きと人間の活動が結びつけられています。また、「夜」の作品では、夜空の星と灯籠が、静寂と希望を象徴しています。これらの作品は、漢字教育が単なる知識の習得だけでなく、創造力と文化理解を育む重要な機会であることを示しています。

昔の漢字の月めくり  
 兵庫県 神戸市立明観小学校 五年  
 山根 妃稀さん

作品の詳細は、生文課 HP  
 「白川静漢字教育賞「小・中学生の部」の受賞作品を紹介します」  
 でご覧ください。